

## 1 調査・研究年報(第78集)

	論文名	著者名
報文	市販生カキにおけるウイルス汚染調査 (2010-2011 ~ 2015-2016 シーズン)	入谷展弘、改田 厚、山元誠司、上林大起、阿部仁一郎、久保英幸、(野田衛)、西尾 孝之、小笠原 準
報文	2015/16 シーズンに大阪市で分離された季節性インフルエンザウイルス	久保英幸、上林大起、改田 厚、入谷展弘、平井有紀、山元誠司、西尾孝之、小笠原準
報文	2015 年に大阪市内の食中毒原因調査において検出された下痢原性微生物	中村寛海、後藤 薫、山本香織、入谷展弘、阿部仁一郎、久保英幸、改田厚、上林大起、山元誠司、平山照雄、平井有紀、山崎一夫、長谷 篤、西尾孝之、小笠原 準
報文	なにわ伝統野菜の栄養成分組成の解明	油谷藍子、岸 映理、尾崎麻子、紀 雅美、大嶋智子、中間昭彦
報文	繊維製品中の有機スズ化合物分析における妥当性評価およびスクリーニング調査 (2001-2013)	大嶋智子、角谷直哉、山野哲夫
報文	ELISA 法による特定原材料(卵・乳・小麦)検査における測定の不確かさの推定	昌山敦、清田恭平、村上太郎、紀雅美、(高取聡、梶村計志)、山野哲夫
報文	HPLC による食品中の保存料の一斉分析法の検討	新矢将尚、山口之彦、山野哲夫
報文	大阪市内における大気中ホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒドの測定 -2007-2015 年における濃度変動-	山口之彦、古市裕子、浅川大地
報文	池干しによる富栄養化した万代池における底泥からの栄養塩溶出抑制の有効性についての検討	大島詔
報文	加熱脱着 GC/MS 法を活用した作業環境測定の例	古市裕子、船坂邦弘、(小川隆平)
学位論文 概要	日本人のビオチン摂取量の推定	皐月(村上)太郎

## 2 他誌発表

## 1) 報文

	論文名	著者名	誌名,巻(号),頁,年
1	大阪市における福島第一原子力発電所事故の影響ー都市活動に伴う放射性物質の集積と環境浄化機能の評価ー	西尾孝之, 北野雅昭, 酒井 護, 高倉晃人, 加田平賢史, 西谷隆司.	RADIOISOTOPES <b>64</b> (4), 229-244 (2015).
2	Detection and characterization of a human G9P[4] rotavirus strain in Japan.	Seiji P. Yamamoto, Atsushi Kaida, (Atsushi Ono), Hideyuki Kubo, and Nobuhiro Iritani.	Journal of Medical Virology <b>87</b> (8), 1311-1318 (2015).
3	腸管凝集付着性大腸菌耐熱性毒素遺伝子 ( <i>astA</i> ) 保有大腸菌 O166:H15 が原因と考えられた社員食堂における食中毒事例についてー大阪市	中村寛海, 梅田 薫, 山本香織, 長谷 篤, 平井有紀, 小笠原準, 入谷展弘, 西尾孝之, (西村真衣, 小山浩嗣, 西 康之, 西村直己, 中野有一).	病原微生物検出情報 <b>36</b> (5), 17-18 (2015).
4	大阪府における風しん流行と先天性風しん症候群の発生動向	(倉田貴子), 上林大起, (弓指孝博, 加瀬哲男, 小林和夫, 田邊雅章, 木下 優, 松本治子, 安井良則, 塩見正司, 東野博彦, 八木由奈, 吉田英樹, 奥町彰礼, 廣川秀徹, 狭間礼子), 入谷展弘, (信田真里, 谷本芳美, 松浪 桂, 大石和徳, 砂川富正).	病原微生物検出情報 <b>36</b> (7), 120-122 (2015).
5	コクサッキーウイルス B4 型が検出された集団胃腸炎について-大阪市	上林大起, 改田 厚, 阿部仁一郎, 久保英幸, 山元誠司, 入谷展弘, 西尾孝之, (伯井紀隆, 森 宏美, 西 貴美, 安井典子, 梶田晴美, 細井舞子, 青木理恵, 坂本徳裕, 廣川秀徹, 半羽宏之, 松本健二, 吉村高尚).	病原微生物検出情報 <b>36</b> (10), 15-16 (2015).
6	エンテロウイルス D68 型の再出現と系統樹解析(2010~2015 年)ー大阪市ー	改田 厚, 入谷展弘, 山元誠司, 上林大起, 平井有紀, 西尾孝之, 久保英幸, (外川正生, 天羽清子, 園府寺美, 西垣敏紀, 塩見正司, 浅井定三郎, 影山 努, 伯井紀隆, 森 宏美, 西 貴美, 安井典子, 梶田晴美, 細井舞子, 青木理恵, 坂本徳裕, 廣川秀徹, 半羽宏之, 松本健二, 吉村高尚).	病原微生物検出情報 <b>36</b> (12), 17-18 (2015).
7	かぼちゃのクリームスープを原因とする黄色ブドウ球菌食中毒事例	梅田 薫, 中村寛海, 山本香織, 小笠原準, 平井有紀, 平山照雄, 長谷 篤, 西尾孝之.	日本食品微生物学会雑誌 <b>32</b> (2), 137-141 (2015).
8	さまざまな O 血清群に属する志賀毒素産生性大腸菌の市販選択培地上での生育特性	(秋吉充子), 中村寛海, (伊豫田淳, 石原朋子, 加藤結子, 井口 純).	日本食品微生物学会雑誌 <b>32</b> (4), 192-198 (2015).
9	Emergence of a novel GII.17 norovirus - End of the GII.4 era?	(Miranda de Graaf, Janko van Beek, Harry Vennema, Alexander T. Podkolzin, Joanne Hewitt, Filemon Bucardo-Rivera, Kate Templeton, Janet Mans, Johan Nordgren, Reuter Gábor, Maureen Lynch, Lasse Dam Rasmussen), Nobuhiro Iritani, (Martin C. Chan, Vito Martella, Katia Balay, Jan Vinjé, Peter A. White, Marion P. Koopmans).	Eurosurveillance <b>20</b> (26), 21178 (2015).

10	Phylogenetic assignment of <i>Mycobacterium tuberculosis</i> Beijing clinical isolates in Japan by maximum <i>a posteriori</i> estimation	(Junji Seto, Takayuki Wada, Tomotada Iwamoto, Aki Tamaru, Shinji Maeda), Kaori Yamamoto, Atsushi Hase, (Koichi Murakami, Eriko Maeda, Akira Oishi, Yuji Migita, Taro Yamamoto, Tadayuki Ahiko).	Infection, Genetics and Evolution <b>35</b> , 82-88 (2015).
11	First molecular identification of <i>Entamoeba polecki</i> in a piglet in Japan and implications for aggravation of ileitis by coinfection with <i>Lawsonia intracellularis</i>	(Makoto Matsubayashi, Kenta Kanamori, Masayuki Sadahiro, Masaharu Tokoro), Niichiro Abe, (Isao Teramoto, Makoto Haritani, Tomoyuki Shibahara).	Parasitology Research <b>114</b> (8), 3069-3073 (2015).
12	Molecular evidence of <i>Sarcocystis</i> species in captive snakes in Japan	Niichiro Abe, (Katsuki Matsubara, Kenichi Tamukai, Yasutsugu Miwa, Kazutoshi Takami).	Parasitology Research <b>114</b> (8), 3175-3179 (2015).
13	<i>Ascaridia nymphii</i> n. sp. (Nematoda: Ascaridida) from the alimentary tract of a severely emaciated dead cockatiel <i>Nymphicus hollandicus</i>	Niichiro Abe, (Kayoko Matsuo, Ikuko Makino).	Parasitology Research <b>114</b> (11), 4281-4288 (2015).
14	Molecular characterization of muscle-parasitizing didymozoid from a chub mackerel, <i>Scomber japonicus</i>	Niichiro Abe, (Mitsuru Okamoto).	Acta Parasitologica <b>60</b> (3), 557-562 (2015).
15	Molecular identification of <i>Cryptosporidium</i> isolates from exotic pet animals in Japan	Niichiro Abe, (Katsuki Matsubara).	Veterinary Parasitology <b>209</b> (3-4), 254-257 (2015).
16	Human parechovirus infections and child myositis cases associated with genotype 3 in Osaka City, Japan, 2014	Seiji P Yamamoto, Atsushi Kaida, (Takuto Naito, Taisuke Hosaka, Yusuke Miyazato, Shin-ichi Sumimoto, Urara Kohdera, Atsushi Ono), Hideyuki Kubo, Nobuhiro Iritani.	Journal of Medical Microbiology <b>64</b> (11), 1415-1424 (2015).
17	Relationship between severity of aseptic meningitis and cerebrospinal fluid cytokine levels	(Norikatsu Hikita, Toshiyuki Seto, Kanako Yamashita), Nobuhiro Iritani, (Minoru Ayata, Hisashi Ogura, Haruo Shintaku).	Osaka City Medical Journal <b>61</b> , 63-71 (2015).
18	大阪市の犬・猫・ネズミにおけるジフテリア毒素産生性 <i>Corynebacterium ulcerans</i> の保有状況と分離株の性状	梅田 薫, (畠山理沙, 阿部拓人, 高倉耕一, 小宮貴子, 岩城正昭, 山本明彦, 真田秀一).	日本獣医師会雑誌 <b>68</b> (12), 765-769 (2015).
19	JATA(12)-VNTR 結核菌型別法による2014年京都府分離菌株の解析	(浅井紀夫, 平田佐和, 真田正稔, 鷺見舞, 堀 忍, 中村清康, 和田宗之), 長谷篤.	京都府保健環境研究所年報 <b>60</b> , 12-15 (2015).
20	豚の <i>Entamoeba polecki</i> と <i>Lawsonia intracellularis</i> が関与する腸炎	(金森健太, 貞弘真行, 松林 誠, 所 正治), 阿部仁一郎, (播谷 亮, 芝原友幸).	日本豚病研究会報 <b>67</b> , 28-33 (2016).
21	ポリエチレンテレフタレート製器具・容器包装におけるアンチモンおよびゲルマニウム溶出試験の試験室間共同試験	(村上 亮, 六鹿元雄, 阿部智之, 阿部 裕, 大坂郁恵, 大野春香, 大野浩之, 大野雄一郎), 尾崎麻子, (柿原芳輝, 河崎裕美, 小林尚, 柴田 博, 城野克弘, 関戸晴子, 藪部博則, 高坂典子, 但馬吉保, 田中 葵, 田中秀幸, 野村千枝, 羽石奈穂子, 疋田晃典, 三浦俊彦, 渡辺一成, 穂山 浩).	食品衛生学雑誌 <b>56</b> (2), 57-67 (2015).

22	ゴム製器具・容器包装における亜鉛試験の試験室間共同試験	(柴田 博, 六鹿元雄, 阿部 裕, 伊藤禎啓, 大坂郁恵, 大野春香, 大野浩之, 大野雄一郎), 尾崎麻子, (柿原芳輝, 小林 尚, 城野克弘, 関戸晴子, 藺部博則, 高坂典子, 但馬吉保, 田中 葵, 田中秀幸, 中西 徹, 野村千枝, 羽石奈穂子, 疋田晃典, 三浦俊彦, 山口未来, 渡辺一成, 穠山 浩).	食品衛生学雑誌 <b>56</b> (3), 123-131 (2015).
23	ヘッドスペース-GC によるポリスチレン製器具・容器包装中の揮発性物質試験の妥当性評価と実態調査(1998~2014 年)	尾崎麻子, 岸 映里, (金子令子), 大嶋智子, 清水 充, (河村葉子).	食品衛生学雑誌, <b>56</b> (4), 166-172 (2015).
24	大阪市内における降下ばいじんの長期観測	船坂邦弘, 増田淳二.	全国環境研究会誌 <b>40</b> (4), 171-177 (2015).
25	Spatial correlativity of atmospheric particulate components simultaneously collected in Japan.	Kunihiro Funasaka, Daichi Asakawa, (Yuichiro Oku, Naoya Kishikawa, Yuya Deguchi, Nobuyuki Sera, Tetsurou Seiyama, Kazunori Horasaki, Keiichi Arashidani, Akira Toriba, Kazuichi Hayakawa, Masanari Watanabe, Hiroyuki Kataoka, Takako Yamaguchi, Fumikazu Ikemori, Yohei Inaba, Kenichi Tonokura Masayuki Akiyama, Osamu Kokunai, Souleymane Coulibaly, Tomohiro Hasei, Tetsushi Watanabe).	Environmental Monitoring and Assessment <b>188</b> (2), Article 85 (2016).
26	Seasonal fluctuations in air pollution in Dazaifu, Japan, and effect of long-range transport from mainland East Asia.	(Souleymane Coulibaly, Hiroki Minami, Maho Abe, Tomohiro Hasei, Nobuyuki Sera, Shigekazu Yamamoto), Kunihiro Funasaka, Daichi Asakawa, (Masanari Watanabe, Naoko Honda, Keiji Wakabayashi, Tetsushi Watanabe).	Biological and Pharmaceutical Bulletin <b>38</b> (9), 1395-1403 (2015).
27	Long-range transport of mutagens and other air pollutants from mainland East Asia to western Japan.	(Souleymane Coulibaly, Hiroki Minami, Maho Abe, Tomohiro Hasei, Tadashi Oro), Kunihiro Funasaka, Daichi Asakawa, (Masanari Watanabe, Naoko Honda, Keiji Wakabayashi, Tetsushi Watanabe).	Genes and Environment <b>37</b> 25, (2015). DOI 10.1186/s41021-015-0025-5
28	Comparison of air pollution with mutagens and chemical constituents in particulate matter in metropolises in China (Beijing) and Japan (Osaka and Nagoya).	(Souleymane Coulibaly, Hiroki Minami, Maho Abe, Nami Furukawa, Ryo Ono, Tomohiro Hasei, Akira Toriba, Ning Tang, Kazuichi Hayakawa), Kunihiro Funasaka, Daichi Asakawa, (Fumikazu Ikemori, Naoko Honda, Keiji Wakabayashia, Tetsushi Watanabe).	Biological and Pharmaceutical Bulletin <b>39</b> (3), 415-422 (2016).

## 2) 著書・解説・総説・その他

	論文名	著者名	誌名, 巻(号), 頁, 年
1	ウイルスは、カビや細菌とはどう違う？ 菌・カビを知る・防ぐ 60 の知恵	入谷展弘.	日本防菌防黴学会編 化学同人出版, 京都, 4-5 (2015).

2	ジアルジア, 赤痢アメーバ, 自由生活性アメーバ	阿部仁一郎(分担執筆).	感染症予防必携 第 3 版, 1-634 (2015).
3	2014-2015 シーズンに流行したノ ロウイルス GII.17 について	入谷展弘, 山元誠司, 改田 厚, 上林大 起, 久保英幸, (野田 衛).	食品衛生研究 <b>65</b> (10), 7-15 (2015).
4	地方自治体におけるヒートアイラ ンド対策の動向	梶元慶子.	ヒートアイランドの事典 - 仕組みを知り, 対策 を図る -, 朝倉書店, 80-81 (2015).
5	地方自治体におけるヒートアイラ ンド対策の推進体制	梶元慶子.	ヒートアイランドの事典 - 仕組みを知り, 対策 を図る -, 朝倉書店, 82-84 (2015).
6	大阪中之島 eco2(エコスクエア) 連絡協議会	梶元慶子, (植栗 健).	ヒートアイランドの事典 - 仕組みを知り, 対策 を図る -, 朝倉書店, 298-301 (2015).
7	街づくりにおけるヒートアイランド 対策 -【10 周年記念特集】ヒー トアイランド対策技術の進展	梶元慶子.	日本ヒートアイランド 学会誌 <b>10</b> , 49-50 (2015).

### 3 学会発表

	演題	発表者名	発表学会, 開催地, 開催日
1	エキゾチックペットアニマルから 検出されたクリプトスポリジウムの シーケンス解析による同定	阿部仁一郎, (松原且季).	第 84 回日本寄生虫 学会, 三鷹市 (2015.3.21-22)
2	ジビエにおける人獣共通寄生虫 感染実態調査	(松尾加代子, 上津ひろな, 後藤判友, 吉田彩子), 阿部仁一郎.	第 84 回日本寄生虫 学会, 三鷹市 (2015.3.21-22)
3	大阪市の麻しん、および発しん 性ウイルス感染症の疫学的検査 と麻しん輸入株についての考察	(廣川秀徹), 改田 厚, 久保英幸, 山元 誠司, 入谷展弘, (坂本徳裕, 松本珠美, 伯井紀隆, 安井典子, 梶田晴美, 細井 舞子, 奥町彰礼, 半羽宏之), 西尾孝 之, (吉田秀樹, 松本健二, 竹内 敏, 甲 田伸一, 吉村高尚).	第 20 回大阪小児感 染症研究会, 大阪市 (2015.4.25)
4	大阪市における蚊媒介性病原ウ イルスの遺伝子検出検査につい て	久保英幸, 山崎一夫, 阿部仁一郎, 入 谷展弘, 山元誠司, 改田 厚, 平井有 紀, 西尾孝之.	第 20 回大阪小児感 染症研究会, 大阪市 (2015.4.25)
5	Reemergence of Enterovirus D68 in Osaka, Japan in 2013	Atsushi Kaida, Seiji P Yamamoto, Nobuhiro Iritani, (Urara Kohdera, Masao Togawa, Kiyoko Amo, Toshinori Nishigaki, Tsutomu Kageyama), Hideyuki Kubo.	31st Clinical Virology Symposium, Daytona Beach, FL, USA (2015.4.26-29)
6	カカオを含む食品からの ELISA 法による小麦タンパク質の検出 法の改良	村上太郎, 工藤鮎子, 昌山 敦, 紀 雅 美, 山野哲夫.	日本食品化学学会第 21 回 総会・学術大 会, 東京都 (2015.5.20-22)

7	ELISA 法による特定原材料の検査における内部品質管理手法の検討	村上太郎, 紀 雅美, 工藤鮎子, (昌山敦), 清田恭平, 山野哲夫.	AOAC International 日本セクション 2015 年度年次大会, 東京都 (2015.6.1)
8	エンテロウイルス D68 型の再出現 —大阪市 2013 年—	改田 厚, (天羽清子).	第 56 回日本臨床ウイルス学会, 岡山市 (2015.6.13-14)
9	化合物データベースを利用する解析ツールを用いた環境中人為物質の同定	山本敦史, (川崎英也, 荒川隆一).	第 63 回質量分析総合討論会, つくば市 (2015. 6.17-19)
10	陰膳を用いた残留性有機汚染物質(POPs)の曝露実態調査—有機塩素系化合物類の摂取量—	先山孝則, (小西良昌, 柿本健作, 永吉晴奈), 東條俊樹, (原田浩二, 小泉昭夫, 中野 武).	第 24 回環境化学討論会, 札幌市 (2015.6.24-26)
11	陰膳中残留性有機汚染物質の鏡像異性体分析	(小西良昌), 先山孝則, (柿本健作, 永吉晴奈, 原田浩二, 小泉昭夫, 中野 武).	第 24 回環境化学討論会, 札幌市 (2015.6.24-26)
12	II 型共同研究で実施した大気中 PFASs/PFCAs の一斉調査結果について	東條俊樹, 山本敦史, (茂木 守, 栗原正憲, 西野貴裕, 加藤みか, 三島聡子, 財原宏一, 長谷川瞳, 津田泰三, 一二三純子, 田中徳人, 伊藤耕二, 松村千里, 羽賀雄紀, 山本勝也, 八木正博, 宮脇崇, 柴田康行, 橋本俊次, 高澤嘉一).	第 24 回環境化学討論会, 札幌市 (2015.6.24-26)
13	分析対象を限定しない高分解能質量分析による PFOS 生分解生成物の探索	山本敦史, (Vladimir P. Beškoski, 山本勝也, 乾秀之, 川崎英也, 荒川隆一).	第 24 回環境化学討論会, 札幌市 (2015.6.24-26)
14	下水汚泥溶融スラグ硫酸脱着液からの pH 調整によるリン回収	中尾賢志, 西尾孝之.	第 52 回下水道研究発表会, 東京都 (2015.7.28-30)
15	環境教育イベントにおける放射熱環境測定実験	榎元慶子, 古市裕子.	日本ヒートアイランド学会 第 10 回全国大会, 南埼玉郡宮代町 (2015.8.29-30)
16	下水汚泥処理工程からのリンとカリウムの同時回収の試み	中尾賢志, 西尾孝之.	第 26 回廃棄物資源循環学会研究発表会, 福岡市 (2015.9.2-4)
17	加熱脱塩処理による飛灰中ダイオキシン類の挙動	高倉晃人, 増田淳二.	第 26 回廃棄物資源循環学会研究発表会, 福岡市 (2015.9.2-4)
18	四重極 ICP-MS による食品産地判別方法の検討	新矢将尚, 油谷藍子, 岸 映里, 尾崎麻子, 山野哲夫.	日本分析化学会第 64 年会, 福岡市 (2015.9.9-11)
19	MPP(リン酸マグネシウムカリウム)生成におけるアルミニウムの阻害	中尾賢志, 西尾孝之.	環境技術学会第 15 回年次大会, 大東市 (2015.9.10-11)
20	PM2.5 質量濃度自動測定機の維持管理のための空試験データの有効活用法の検討	板野泰之, (山神真紀子, 長谷川就一, 田子 博, 長田健太郎, 鈴木義浩, 秋山雅行, 山川和彦, 菅田誠治).	第 56 回大気環境学会年会, 東京都 (2015.9.15-17)

21	同一測定機種によるPM2.5濃度の日内変動パターンの解析	板野泰之, (山本勝彦).	第56回大気環境学会年会, 東京都 (2015.9.15-17)
22	エアロゾルの室内への流入と緩和対策の提案	船坂邦弘.	第56回大気環境学会年会, 東京都 (2015.9.15-17)
23	マイクロ流路チップ-Direct RT-LAMP装置におけるインフルエンザウイルス遺伝子の重複検出例	久保英幸, 改田 厚, 入谷展弘, 山元誠司, 西尾孝之, (高山郁代, 中内美名, 高橋 仁, 影山 努).	平成27年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会, 神戸市 (2015.10.2)
24	ノイラミニダーゼ阻害薬治療およびインフルエンザウイルス分離に関する検討	久保英幸.	第48回日本小児呼吸器学会, 倉敷市 (2015.10.23-24)
25	重度の消瘦を呈して死亡したオカメインコの消化管内から検出された新種の回虫 <i>Ascaridia nymphii</i> の形態学的、遺伝学的特徴と混合感染していた <i>Cryptosporidium avian genotype V</i> の寄生部位	阿部仁一郎, (松尾加代子, 牧野幾子).	第71回日本寄生虫学会, 奈良市 (2015.10.24-25)
26	ジビエに潜む未知の人獣共通寄生虫症の可能性	(松尾加代子, 上津ひろな, 後藤判友, 吉田彩子), 阿部仁一郎.	第71回日本寄生虫学会, 奈良市 (2015.10.24-25)
27	魚介類および魚介加工品中のヒスタミン迅速測定におけるキットの応用	尾崎麻子, 村上太郎, 岸 映里, 大嶋智子, 山野哲夫.	第110回 日本食品衛生学会, 京都市 (2015.10.29-30)
28	オレンジアレルギーに対するモノクローナル抗体の作出	清田恭平, (川津健太郎, 坂田淳子), 村上太郎, 昌山 敦, (吉光真人), 紀 雅美, (梶村計志), 山野哲夫.	第110回 日本食品衛生学会, 京都市 (2015.10.29-30)
29	HPLCによる食品中の人工甘味料の一斉分析法の検討	新矢将尚, 山口之彦, 山野哲夫.	第110回 日本食品衛生学会, 京都市 (2015.10.29-30)
30	LC-MS/MSにより算出した淀川産シジミにおける麻痺性貝毒の毒力について	仲谷 正, 昌山 敦, 清水 充, 山野哲夫.	第110回 日本食品衛生学会, 京都市 (2015.10.29-30)
31	両下肢筋炎を主症状としたパレコウイルス3型感染症の1例	(内藤拓人), 山元誠司, (高野良彦, 巽亜子, 新居 敏, 杉田 亮, 安西香織, 竹川麻衣, 野村安隆, 肥田晋也, 坂本晴子, 藤野寿典, 葭井操雄), 改田 厚, (住本真一).	第47回 日本小児感染症学会総会・学術集会, 福島市 (2015.10.31-11.1)
32	大阪市あいりん地域における結核菌分子疫学調査	山本香織, (和田崇之, 小向 潤, 松本健二, 下内 昭, 山本太郎).	第74回公衆衛生学会総会, 長崎市 (2015.11.4-6)

33	Diurnal variation pattern of PM2.5, SPM, and black carbon mass concentrations observed at eight sites in Japan	Yasuyuki Itano, (Katsuhiko Yamamoto).	The 13th International Conference on Atmospheric Sciences and Applications to Air Quality, 神戸市 (2015.11.11-13)
34	保育園で発生したカンピロバクター食中毒事例について	山本香織, 中村寛海, 長谷 篤, 後藤 薫, 平井有紀, 平山照雄, (中川恵理, 西村直己, 竹内伸夫, 山田和弘), 西尾孝之.	第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 川崎市 (2015.11.12-13)
35	缶入りゼリー菓子およびその製造環境から分離された酵母の解析	中村寛海, 阿部仁一郎, (安福 潔, 宮木行雄, 西 康之), 平山照雄, 平井有紀, 西尾孝之.	第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 川崎市 (2015.11.12-13)
36	健康な人から分離された大腸菌の特徴解析	(秋吉充子), 中村寛海, (加藤結子, 井口 純).	第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 川崎市 (2015.11.12-13)
37	ICP-MS による食品の産地判別法の検討	新矢将尚.	平成 27 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会, 神戸市 (2015.11.13)
38	マイクロ流路チップーDirect RT-LAMP 法を用いた呼吸器病原ウイルス遺伝子検出	久保英幸, 改田 厚, 入谷展弘, 山元誠司, 西尾孝之, (高山郁代, 中内美名, 高橋 仁, 影山 努).	第 63 回日本ウイルス学会学術集会, 福岡市 (2015.11.22-24)
39	大阪市におけるノロウイルス GII.17 の流行状況	入谷展弘, 山元誠司, 改田 厚, 阿部仁一郎, 上林大起, 久保英幸, (野田 衛).	第 63 回日本ウイルス学会学術集会, 福岡市 (2015.11.22-24)
40	2014 年に大阪市で流行したヒトパレコウイルス3型の特徴と流行性筋痛症	山元誠司, 改田 厚, (内藤拓人, 保坂泰介, 宮里悠佑, 住本真一, 園府寺美), 久保英幸, 入谷展弘.	第 63 回日本ウイルス学会学術集会, 福岡市 (2015.11.22-24)
41	缶入りゼリー菓子およびその製造環境から分離された酵母の解析	中村寛海, 阿部仁一郎, (安福 潔, 宮木行雄, 西 康之), 平山照雄, 平井有紀, 西尾孝之.	平成 27 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部細菌部会研究会, 大津市 (2015.11.27)
42	大阪市における食品等の異物混入事例について	尾崎麻子, 仲谷 正, 村上太郎, 大嶋智子, 角谷直哉, 山野哲夫.	第 52 回全国衛生化学技術協議会年会, 静岡市 (2015.12.3-4)
43	スズ製器具の鉛違反疑い事例について	岸 映里, 尾崎麻子, 新矢将尚, 大嶋智子, 山野哲夫.	第 52 回全国衛生化学技術協議会年会, 静岡市 (2015.12.3-4)
44	カーテン等繊維製品中の防炎加工剤の人工だ液・汗液への溶出	大嶋智子, 岸 映里, 尾崎麻子, 角谷直哉, 山野哲夫.	第 52 回全国衛生化学技術協議会年会, 静岡市 (2015.12.3-4)
45	マイクロウェーブ分解装置および ICP-MS を用いた有害元素一斉分析法の種々の食品等への適用について	油谷藍子, 尾崎麻子, 大嶋智子, 山野哲夫.	第 52 回全国衛生化学技術協議会年会, 静岡市 (2015.12.3-4)

46	大阪市における遺伝子組換えコメ検査の対応と違反事例報告	紀 雅美, 村上太郎, 工藤鮎子, 昌山 敦, 山野哲夫.	第 52 回全国衛生化学技術協議会年会, 静岡市 (2015.12.3-4)
47	Changes of chemical characteristics of the outdoor, indoor, and individual exposure of suspended particles in Osaka, Japan.	Kunihiro Funasaka.	PACIFICHEM 2015, Honolulu, HI, USA (2015.12.15-20)
48	A case of mycobacteriosis of frogs: insights into virulence and ecology of aquatic mycobacteria as a zoonotic pathogen.	(Takayuki Wada, Shiomi Yoshida, )Kaori Yamamoto, (Yoshiharu Tachikawa, Shin-Ichi Yokota, Sinsaku Hattori, Chie Nakajima, Yasuhiko Suzuki, Kazunari Tsuyuguchi, Tokuma Yanai, Taro Yamamoto).	The U.S. – Japan Cooperative Medical Sciences Program presents 50th Anniversary Celebration followed by the 18th International Conference on Emerging Infectious Diseases, North Bethesda, MD, USA (2016.1.11-15)
49	大気中 PFASs/PFCAs の分析および組成の違いについて	東條俊樹, 山本敦史.	第 30 回全国研協議会東海・近畿・北陸支部 支部研究会, 大津市 (2016.1.14-15)
50	淀川水系河川水中のウラン濃度	新矢将尚, 加田平賢史, 西尾孝之.	第 50 回日本水環境学会年会, 徳島市 (2016.3.16-18)
51	大阪市内河川の窒素・リン負荷量と下水処理水の影響	中尾賢志, 西尾孝之.	第 50 回日本水環境学会年会, 徳島市 (2016.3.16-18)
52	大阪市内河川における大腸菌群数および大腸菌数について	大島 詔.	第 50 回日本水環境学会年会, 徳島市 (2016.3.16-18)
53	アニサキス感作ラットにおいて同幼虫ホモジネートの経口投与後に特異抗体反応増強する可能性があるアニサキス抗原分画	阿部仁一郎, (木俣 勲).	第 85 回日本寄生虫学会, 宮崎市 (2016.3.19-20)
54	腸管凝集付着性大腸菌耐熱性毒素遺伝子 ( <i>astA</i> ) 保有大腸菌 O166:H15 が原因と考えられた食中毒事例	中村寛海, 梅田 薫.	第 89 回日本細菌学会総会, 大阪市 (2016.3.23-25)
55	大気エアロゾルの地域間および成分間の相関性について	船坂邦弘, 浅川大地, (池盛文数, クウリ バリスレイマン, 長谷井友尋, 渡辺徹志).	日本化学会第 96 春季年会, 京田辺市 (2016.3.24-27)